

平成27年度 神戸市立海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 " 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 " 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	平成25年4月1日から平成29年3月31日まで
(4)市支出額 ※円単位で記入	協定締結額48,091,377円 決算額46,818,147円 (差額1,273,230円は修繕費の精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	27年度の状況
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めた結果、対前年度で電気使用量を6.0%、ガス使用量は10.5%削減することができた。
②施設の運營業務	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 308日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○平成27年度の特記事項は以下のとおり。 ■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム) <ul style="list-style-type: none"> (1)企画展 <ul style="list-style-type: none"> ・「笠戸丸移民はこうして始まった」(5/23-7/26:1,407人) ・「日本移民の汗と涙がやっと花開いた」(10/24-12/23:1,260人) (2)常設展 <ul style="list-style-type: none"> ・来館者用パンフレットの作成 など (3)移住ミュージアム企画委員会の開催(H28.3) ■多文化との共生の広場(在住外国人支援) <ul style="list-style-type: none"> ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・移民祭など移民の歴史を啓発する事業 ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など ■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流) <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、公開アトリエ事業を実施 ・企画展覧会(16回)を実施し、国内外のアーティストの作品を展示

	③その他の業務	<p>○日伯協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル・ポルトガル語講座の開催 ・移住ミュージアムにおける関連品目の販売 ・関連図書・資料の閲覧提供 (図書・資料一覧については分類整理を行ったうえでホームページで公開。) <p>○CBK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルからの訪問団の受入 ・ブラジル民話の発表会 ・盆踊りの練習会 ・移民写真展の開催 など <p>○CAP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供まで参加できるアートに関する体験講座「アート林間学校」 ・ねんどクラブ ・土曜クラブ など 65の自主事業 <p>○3つの団体の連携事業として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中南米音楽会 ・ブラジル移民祭 ・アート林間学校
(2)利用状況		27年度の状況
	①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数:27年度60,201人(対前年度比△2.2%) 26年度61,498人(対前年度比+9.9%) ・昨年度に続き、提案時の目標値(51,000人)を上回った(+18.0%)。 ・新神戸駅観光案内所・北野異人館観光案内所・北野工房でのリーフレット配布、観光タクシー会社へのリーフレット提供など外部施設等へのPR活動を実施 ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) [全館トータル]55.9%(57.3%) [1Fホール]43.1%(58.7%) [2F多目的室] 96.4%(97.1%) [2Fセミナールーム] 16.0%(12.2%) [3F小会議室] 40.8%(49.5%) [3F大会議室] 39.0%(40.5%) [3Fギャラリー③] 99.4%(90.0%) [4Fギャラリー①] 75.6%(71.3%) [4Fギャラリー②] 75.0%(72.9%) [5Fホール] 18.2%(23.1%)
	②その他利用状況	・駐車場利用台数 27年度 2,934台(約10台/日)、26年度 2,984台(約10台/日)
(3)収支状況		27年度の状況
	①使用料または利用料金収入	<p>[貸館事業]・活動支援室 27年度480,000円 26年度480,000円 ・会議室等 27年度147,600円 26年度173,550円 [駐車場使用料] 27年度810,300円 26年度872,200円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料</p>
	②指定管理者の収支状況	神戸市負担額 46,818,147円
(4)その他		27年度の状況
	①来館者に関する特記	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館が増えている。 27年度:31大学(うち関西圏外9、海外3)のべ56回 26年度:22大学(うち関西圏外7)のべ24回 ・その他、自治体関係者、高校、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

※ 本欄には、利用者数や収入額、その他新たなサービスなどについて目標値などの提案があった場合に、その内容と達成状況を再掲すること。

		提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率		・入館者数 51,000人 ・貸館稼働率 48%	・入館者数 60,201人(達成) ・貸館稼働率 55.9%(達成)
②収入目標額		・貸館事業 350,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 147,600円 ・駐車場 810,300円
③その他新たなサービス		特になし	

4. 利用者の満足度調査等

		27年度の状況
①満足度調査の実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法: 来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間: 常時 ・回収件数: 27年度1,325件(26年度1,217件) ・質問項目: 来館目的、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
②満足度調査の結果		<p>【施設全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム: 43(39)%、在住外国人支援: 5(6)%、国際芸術交流: 4(3)%、イベント17(20)%、貸館利用2(2)%、その他24(25)%、未記入6(5)% ・知った方法 HP7(7)%、観光案内2(2)%、イベントチラシ8(6)%、新聞2(1)%、紹介25(26)%、通りがかり6(5)%、その他41(44)%、未記入10(9)% ・展示内容 とても良い: 47(40)%、良い: 33(36)%、普通: 7(11)%、あまり良くない: 0(1)%、良くない: 0(1)%、未記入: 13(11)% ・再訪の意向 ぜひ来たい: 37(34)%、来るかも: 51(55)%、来ない: 4(5)%、未記入: 9(6)%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの苦情については特に見られなかった。 ・アンケート自由意見欄では、「様々な展示物やパネルに加え、詳しい説明もあり、移民・移住の歴史がよく分かった」との評価が多数あった。他には、「若い世代にも見てもらいたい」「移住先での生活についてもう少し詳しく知りたい」などの意見があった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展などを積極的に実施し、集客に努めている。 ・入館者数は引き続き、目標値を大きく上回っている。 ・特に、大学等からの来館が増えている点は評価できる。 ・引き続き、努力を続けてもらいたい。